

巻末特集 / 見た目に踊らされないサングラス選びをしよう。

● ライトニング

Lightning

2006 Vol.147 7月号 定価¥580

特集1

HARLEY-DAVIDSON, INDIAN, TRIUMPH, BSA, BMW,
HONDA, YAMAHA, KAWASAKI.....AND MORE

バイクだって ヴィンテージ!



特集2

つい他人に話したくなる Tシャツのウンチク。

→店内には古いもので1800年代。新しいモノでもせいぜい60年代くらいのモノが中心になってくるといふアイテムたち。どれも必見



昔の複葉機の模型だが、その作り込みの細かさにびる。当時はハンドメイドでしっかりと作られていたの時代でも生き残っている。225ドル



黒電話は手前が30年代製で250ドル、奥はオック・エレクトリック社製で195ドル。同じ家庭も微妙にデザインが違うよね

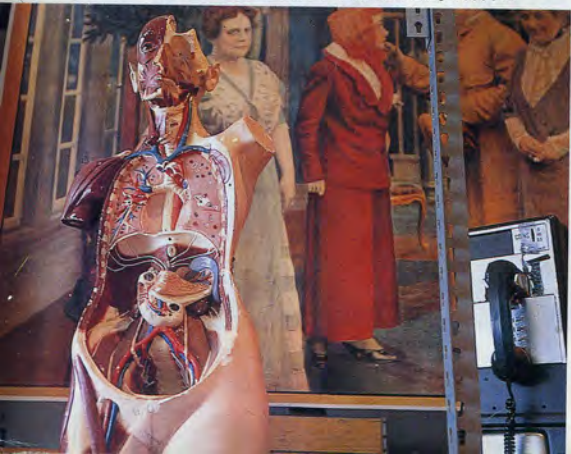


←精密機械という響きに男は弱いんだよね。ヴィンテージの顕微鏡はそのフォルムや素材感がキモ。右が95ドル、左は日本製で500ドル



↑カラダ部分が機械になっている女性をモチーフにしたオブジェは'50年代のプロダクト。スペースエイジが影響しているのか？ 5000ドル。後ろにある地球儀もヴィンテージだ

↓ヴィンテージ・サイエンスの大定番である人体模型は'30年代のプロダクト。インテリアにするにはちょっと不気味だけどね。1000ドル



↑取材時はちょうどセール中。地味な外観なので見逃さないように。2701 Main St. Santa Monica CA90405 TEL310-396-3477

上級者向け ヴィンテージ ショップ。

Jadis

サイエンティフィックなアイテムや電化製品、そしてアンティークのプロップといったモノで埋め尽くされた店内。ヴィンテージ専門店として'76年にオープンしたこのオーナー、パーク氏は、もともとはチャールズ・イームズといっしょに仕事をしていた人物。イームズの製作したムービーの大半を手伝い、それだけでなくハリウッド映画やテレビCMなども手がけた重鎮。それだけにここに集まっているアイテムはどれも見事にマニアック。ウィークデーはアポイント制なので、週末に行くのがおすすめ。



↑中央がオーナーのパーク氏、右がアンドリュウ、左がマネージャーのスーザン。ちなみにアンドリュウのお父さんもイームズ派だった



↑軍モノも衣類や小物なんていう生ぬるいアイテムではない。巨大な計器をラインナップ。ちなみに中央が'40年代製で95ドル



←一つよりも部屋のオブジェとして力を発揮しそうなヴィンテージ・カメラは'10~'30年代のアイテムが中心で40~130ドルくらいで購入可能